

第19回土岐市子ども・子育て会議 会議録

日時 令和3年7月19日（月）

午後3時00分～

会場 市役所 3階 大会議室

【出席者】 山田 利彦 山村真由美 伊東美穂 赤川冴香 福富 泰岳
加藤 隆浩 小栗 潔子 鷺見 政人 古宮山 綾乃 三宅 裕一
熊崎 克朗 藤田 佳代 近崎 奈保子 松崎 多恵子

【欠席者】 なし

(敬称略)

(事務局)

ただいまより第19回土岐市子ども・子育て会議を始めさせていただきます。

配布資料確認

1 健康福祉部長あいさつ

本日は、委員の皆様方には大変お忙しい中、子ども子育て会議にご出席を賜りまして誠にありがとうございます。また日頃から本市の子育て支援施策について、ご協力をいただいておりますこと重ねて御礼申し上げます。本日の会議でございますが、お手元の資料次第にありますように、「第2期土岐市子ども子育て支援事業計画」の2年目を迎えまして、昨年度の進捗状況についてご審議をいただくことと、現在整備を進めております泉こども園整備事業計画、整備事業の概要につきまして、ご説明、ご報告をさせていただく予定でございます。委員の皆様方から様々な視点によりご意見をいただきながら、今後の子育てに関する施策に生かして参りたいと思っておりますので一層の力添えをお願い申し上げます。ごあいさつとさせていただきます。よろしくお願いいたします。

2 会長あいさつ

委員の皆様方、それぞれの団体等で子育て支援に携わる中で、特にコロナ禍で大変なご苦労をおかけしていると思います。新任の委員の方については、資料の中に大変細かい数字や様々な用語が出てきますが、用語についてはわかりやすく説明していただこうと思っておりますし、数字等については、自分が所属している団体や、関心のあるところについて、よく見ていただければ良いと思います。また、会が終わりの段階になりましたら、本日の議題等にかかわらず、各団体での情報交流や連携のための他の委員の皆さんへのお話がありましたら1人一言ずつ順にお話しさせていただきます。せつかくの場ですので心づもりをしておいていただけるとありがたいと思います。よろしくお願いいたします。

(事務局)

条例では副会長を置くことが定められており、これまで慣例的に幼稚園長会長にお願いをしてきました。この例に倣いますと、熊崎克朗氏にお願いすることとなりますが、よろしいでしょうか。

⇒特に意見なく、幼稚園長会長である熊崎克朗氏に決定した。

3 委員及び事務局紹介

名簿の順序で各委員が自己紹介した後、事務局職員が自己紹介をした。

4 第2期土岐市子ども・子育て支援事業計画の令和2年度進捗状況について

(山田会長)

それでは議題4 第2期土岐市子ども・子育て支援事業計画の令和2年度進捗状況について事務局から説明をお願いします。

(事務局)

説明前に第2期土岐市子ども・子育て支援事業計画についての概要を説明。その後、第2期土岐市子ども・子育て支援事業計画の令和2年度実績について資料1の内容を説明。

(小栗委員)

一時預かり事業で、土岐共同保育所たけのこ園ですが、余裕活用型で行っています。昨年度の夏休みなど、幼稚園の年少さんなどをお預かりして実績があったのですが、資料には載っていません。支援の事業には当てはまらないのでしょうか。

(事務局)

資料について、子ども・子育て支援事業という国の補助金に係る事業がありまして、現在たけのこ園さんがそういった事業をやっていることは承知していますが、補助に係る事業外の事業となりますのでこの資料には掲載していません。ただ、いつもお世話になっていることは十分承知しています。また、そちらの補助金申請については、ご相談いただければと思います。

(松崎委員)

子育て短期支援事業について、利用がなかったということでしたが、5つの施設と契約を結んで緊急時の受け入れに備えているということで、具体的にはどこの施設と契約を結んでいますか。

(事務局)

児童養護施設で名前が言える範囲で言いますと恵那市の白鳩学園や中津川市にある麦の穂・かがやきといった施設になります。緊急的に使える施設は市内にもありますが、具体的には申し上げられません。実際に利用する際には、市へ申請を出し、市で決定をするという流れとなります。

(近崎委員)

母子推進員として訪問した先のお母さんで、出産されて2ヶ月ほどの方ですが、上にお姉ちゃんがいる、下の子が生まれたばかりの時はご主人も早く帰って、祖父母の応援もあったのですが、なかなか毎日来られない中、上のお姉ちゃんの送迎を頼める人がいないと言われました。母子推進員としては「市と相談してください」と言うしかなく、送迎の時だけでもファミリーサポート利用があるのかもしれないですが、先ほどなかなかマッチングができないという説明もありましたが、そういった時はどのように返答したら良いでしょうか。

(事務局)

現状でサポート会員が少ないことを申し上げるしかないのですが、やはり相談があった場合には、こちらも全力でサポート会員さんを探して、マッチングできるように動きたいと思っています。実際にそういった幼稚園の送迎を依頼された事例もあり、その時はマッチングできましたが、やはり全部の日にとりますと、1時間当たりのお金が積み重なります。できる限りの時間、範囲内で、送迎をファミリーサポートのサポート会員でさせていただいた事例もありますので、ぜひ子育て支援課の方にご相談していただければと思います。

(松崎委員)

ファミリーサポートについて、サポート会員が少ないということですが、どのように募集をかけていますか。そういう事業があるということを知ったので、もっと市民の方に知ってもらったほうが良いと思います。

(事務局)

昨年度は民生委員会にて、委員の方にファミリーサポートについての説明とサポート会員募集のチラシを配布しています。また、様々な行事や子育ての講座などでもお話しをさせていただいたが、サポート会員の増加につながっていません。

(小栗委員)

サポート会員がたけのこ園の保護者について、いろいろ話を聞いていたので今日子ども・子育て会議で何か言ってきてあげようかと話をしたところ、お手紙をもらいました。「読むことはやめてほしい」と言われたので申し上げられないのですが、実際サポート会員が2名しかいないということで、4月の入園前の時に「2人ではお願いされた分はとても回らないからその分をたけのこ園で預かれませんか」という相談を受けて、たけのこ園もコロナの時期だったこともあり「不特定多数を多くは見られません」とお断りしました。私は多治見市民で、今もやっているか分かりませんが、多治見市では社協さんがファミリーサポート会員さん向けに2日間ぐらいの講座で子どもの遊びや絵本、発達の話など、子育てをしているお母さんに魅力的な内容で、ちょっと聞きに行くと、やれるか分からないけど登録してみようという感じで受ける人が周囲にも多かったですし、保育園のお迎えにファミサポさんが来るのが普通であって、おじいちゃん、おばあちゃんが夫婦でサポート会員をやったり、ファミサポを使うことが全然珍しくないくらい普及していたので、もし良ければ多治見市のやり方を参考にしても良いのではと思います。

(事務局)

ありがとうございます。今後の参考にさせていただきます。

5 泉こども園の整備について

(山田会長)

次に議題5 泉こども園の整備について事務局から説明をお願いします。

(事務局)

資料2に基づき、泉こども園整備についての概要、進捗及び今後のスケジュール概略についての内容を説明。

(加藤委員)

ICT化はされるでしょうか。鉄筋コンクリート造なので初期にインターネットの配線をしたほうが良いと思いますが。

(事務局)

WiFi環境を当初から設定して、どの保育室でもシステムやインターネットが使えるような状況を整備する予定です。

(山田会長)

花園こども園ではすでにネット環境を整えています、「こういうことができた」や、「こうすると良い」など教えていただけますか。

(加藤委員)

働き方改革として、例えば出退勤の確認で、残業の時は15分単位ですべて記録が残るので、手当をつけるとか、働き方を見直して仕事の簡略化を図ることで使うことで職員がすごく楽になったと思います。また、子どもたちの保護者はカードを必ず持っており、それで朝、園に来る、午後に帰る等の子どもの登降園管理ができていますので、連絡をいただいた時に事務局の職員でも、どのパソコンからでも、誰が何時に来て何時に帰ったかの確認ができます。そういったところではすごくスムーズな対応ができるようになったと思います。

(山田会長)

今のお話を参考にさせていただきたいと思います。

(松崎委員)

新園舎が東側の交差点や道路ギリギリのところに建つことになり、交差点の見通しが悪くなるのではないかと思います。三起屋へ行く方が良く使う道路なので、交通量は結構あると思いますが、そのあたりは警察、公安委員会が考えられることでしょうか。この建物で全然見えなくなると思うのですが、カーブミラーの設置も公安委員会が考えられるということですか。

(事務局)

交差点の改良に係る場合は公安委員会との協議を行いますが、今回の工事に関してそういった協議は必要になっていません。また、実際の運用については、建物が建った後になると思いますが、地元等の要望が上がってきたタイミングで検討することになり、その際にカーブミラーが必要という判断になれば、調整をすることになると思います。

(山田会長)

学校の近くや通学路あたりには、道路に色を塗って注意喚起することもありますので、安全面を考えると良いと思います。

駐車場や車の安全について、久尻保育園さんは大変苦勞していると思いますが、何か考えとかありましたらお願いします。

(藤田委員)

久尻保育園は道幅も狭く駐車場もそんなにある訳ではないので、保護者さんの協力をいただきながら当園なりのルールを作ってやっている状況です。泉こども園も、同じような状況なので大変だと思いますが、近くの駐車場や地域の中で助けていただきながら安全に運営ができればと思います。

(山田会長)

登園・降園の送り迎えなど、保護者さんにとっては大変なことだと思うので、建物のことも大事ですが、送迎や交通安全についてもこれから考えていただけると良いと思います。

6 その他

(山田会長)

今日の議事と関わりがなくても団体等でやっていることや皆さんにお知らせすると良いと思われることなど、一言ずつ順番に伺っていきます。

(山村委員)

土岐市PTA連合会ですが、それぞれの学校でPTAの役員を決めることがすごく負担になっているということがあります。PTAの活動は大変なイメージがあるため、なかなか手がない。皆さんができるように変えていけるよう、みんなで意見を出し合って考えているところです。

(伊東委員)

コロナ禍で今年度は幼稚園PTA全体としての活動ができないという状況です。例年は夏休みに観劇をしていましたが昨年に引き続き今年度も中止の方向です。子どもたちは様々なことを楽しみにしているため、各幼稚園で先生やPTAの役員が昨年度よりもう少し頑張ってみようと、各行事を工夫しながら進めています。

(赤川委員)

私も4歳の娘がいて保育園に預けていますが、先生方もコロナ禍で行事等も考えながら、工夫しながら安心して安全な対策を考えて実施していただくことに、本当にありがたい気持ちで毎日保育園を利用しています。

(福富委員)

ときつこども園は、地域に開かれた、地域に守られたこども園という教育保育方針でやってきました。今までも、地域の老人クラブの方に来ていただいて子どもたちと交流する活動などを積極的に行ってきましたが、コロナ禍により、そういう当たり前のことができなくなって大変困っています。しかし、保護者に対して、子どもたちの教育保育を保障しながら、園児・保護者へのサービスとして考えていかなければならないと、職員ともども考えながらやっているところです。子どもたちが伸び伸びと体を動かし、元気な声、元気に過ごしている姿が何よりも大切なだと考えております。1日でも早く、コロナが収束して地域の人と触れ合い、地域に開かれたこども園

を目指したいと思っています。皆さんの知恵をいただきながら考えていきますのでよろしくお願い致します。

(加藤委員)

先ほどICT化の話をさせていただいたのは、それこそ目まぐるしくウェブに伴う環境変化というのがあって、当園の職員研修も大半がZOOM会議、ZOOMミーティングを使って行われる状態になっています。岐阜市まで行かなくて良いとか便利な部分もありますが、この会議のように皆さんの顔を見ながら直接話ができることの大切さもあると思います。上手くつき合っていかなければいけないと感じました。特に我々がそちらだけに走ってしまって、子どもの心にどういう影響を与えるのか考えると、行事ができないことで動画を配信したり、色々なことをして保護者に見てもらっていますが、やはり実際に園に来ていただいて、直接お子さんの成長を見てもらうという大切さもあると思いますので、こういう環境に少しでも向き合えるような施策を考えていきたいと思っています。

(小栗委員)

私達の園ではこのところ産前産後の児を預かることが多く、最近も1歳になったばかりの児が来たのですが、お散歩に連れて行った先の公園で、地面に座らせたら泣かれましたので、お母さんに、「外に出たことないの？砂の上に座ったことがないのかしら」と話したら「公園に行っても誰もいないし、遊びに行っていないませんでした」という答えでした。もしかすると、コロナ禍で外に出るのが怖くてお友達もできない、親子2人で家の中にこもっている児が増えてくるかもしれないと思います。コロナ禍で心配なこともあります。第一子だと親もどうして良いか分からないので、近くの児童館等で子育て中の親が、親子で参加したり、仲間づくりができることをやっていく必要があると思います。

(鷲見委員)

今日の資料の「地域子育て支援拠点事業」の子育て支援センターを運営しております。昨年度の実績を見ていただきますと、このコメントにも書いてあるとおり、コロナの緊急事態宣言による閉館に伴い、子育て支援センター業務も電話対応のみだったため、利用できる方もかなり少なかったです。子育て支援センター業務としては相談業務もありますが、保護者相互の交流を持つ場というところで、何とか事業展開しようと思いましたが、先月末までのかなりの期間、行事は中止となっていました。今月から定員を設けて、手指消毒や感染症対策を万全にした上で行事を再開しましたので、児童館・児童センターに関係ある方々に来ていただけたら良いと思っています。行事については他の地域も参考にしますが、相談支援については保護者の課題に関してどうしても子育て支援センターの職員だけでは上手くいかないこともあるので、その時は皆さんにもご協力をお願いするかもしれません。よろしくお願いいたします。

(古宮山委員)

市の広報が月に1回の発行になり、その中で子育て支援のページがありますが、内容もわかりやすくいつも良いと思っています。情報提供はすごく大事だと思うので、若い方たちに届くよう、もっと広報してもらいたいと思います。乳幼児全戸訪問事業のところ、原則すべての乳児の家庭を訪問しているとありますが、東濃地区では、無国籍の人はいないということを以前聞いた気がします。そういうことで問題になったようなことがありますか。

(事務局)

保健センターの事業でやっています、今のところ情報は入っていないので「ない」ということになります。ただ、そういう方がいた場合は、今後の国籍取得や家庭の状況について子育て支援課も関わりながら、保健センターと連携しての支援が必要になると思います。

(三宅委員)

情報提供ですが、昨年度もコロナでなかなか活動ができませんでしたが、今年度に入ってできることを学校でもやっていくということで、明日1学期が終わり、例年と同じ長さの夏休みを迎えられる状況があります。そんな中で校外行事である社会見学や修学旅行についても、感染対策をして実施をするということで、一番早い学校では9月に修学旅行に行けるという状況で準備をしています。先ほどICTのお話がありましたが、土岐市も小中学校で子どもたちにタブレット端末を1人1台配布され、本格的に4月から稼働して小学校一年生も使っています。最終的には家庭への持ち帰りを目標にしていますが、この夏休みに市内統一で5年生以上中学3年生までの児童生徒は家庭へ持ち帰るということを試みでやっていくということで、現在取り組んでいます。

(熊崎副会長)

コロナ禍で本当に去年は何もできなかったという感じでした。今年6月に園庭で移動遊具(三輪車)等を出して遊ばせたのですが、5歳児の半分くらい三輪車がこげないことにびっくりして、どうしてだろう、という話になりました。やはり昨年やれなかったことが影響しているのではないかという話で、今年是可以なことをなるべくやらせようと取り組んでいます。各園6月末から7月にかけて1年ぶりに評議委員会をやり、ようやく外部の人を入れて意見を聞くことができました。5歳児は10月、11月にバス遠足が予定通りできそうだとということで、これから少しずつ動けるようになるのかなということを思っています。

(藤田委員)

保育園では昨年度にできなかったことも、今できることは何だろうということを考えながらやっております。前と同じようにはすぐには戻れない。ただ、前と同じにはならないけど、良い機会として、本当に必要なことは何かということを考えながら、保育を進めている状況です。保護者さんの就労の関係で保育園は子どもたちの夏休みも保護者さんの仕事に合わせての休みということで、休みなく開園していますが、その中で子どもたちや保護者さんも安心安全で楽しんで保育園に通っていただけるよう、日々職員一同、心一つにしてお預かりしていきたいと思っております。今日の会議に出させていただき、実際、保育園に通っていても、その背景としてお母さん達が送迎一つにも困っているという事情がある等、なかなか私たちが目に見えていない部分があるということも感じて、そういったところにも気づけるような園でありたいと思えました。地域の方や皆さん方と一緒にそういった家庭をサポートしていけるような園になればと思っています。

(近崎委員)

子育て支援課が出している「ときっ子子育てハンドブック」というのを、偶然図書館で無料配布していたのでもらいましたが、すごくいい冊子だと思います。生まれたばかりの乳幼児の予防接種から、健康診断のこと、病院や困った時は市役所のどこに行けばいいのか等、支援が必要な手当のことや公園、飲食店等々、子育て応援マップもあって総合的にお母さんの知りたいと思うことが全部書いてあるので、素晴らしい冊子だと思います。子どもさんのところを訪問した時に、保育園のことを聞かれることもありますが、この冊子があると電話番号まで載っているのですごく心強いです。この冊子はどのように配られているのでしょうか。それから、令和3年1月

改定となっていますが、内容が変わっているところもあります。例えば乳幼児相談のところ、保健センターは、以前は予約せずに自由に来て良かったのですが、今はコロナの関係で、相談する際は予約が必要となっていること等。あと、図書館で電子図書ができて、カードと生年月日があれば、家で自由に絵本なども見ることができるので追加していただきたいと思います。

(山田会長)

私も紹介しようと思って冊子を持ってきました。泉西公民館でママさんの講座の際などで来たお母さん方に紹介しています。新しい内容についての改訂版はどんどん出していかなければいけないと思います。「ときっこ子育てハンドブックママさんたちの手でハンドブックを作ろう会」はとても頑張られたと思います。それからもう一つ、難しいけど、外国の方にもわかるような内容で何かできると良いと思いました。

(事務局)

子育てハンドブックは昨年度中に作っています。2年ごとに作る予定をしていますので、今年度は新しく作る予定はありませんが、来年度に改訂版を出す予定をしています。もともとは、冊子の後ろに書かれたママさん達が集まって、どういう内容ならお母さんたちが見てくれるのか話し合っ内容を考えていただいたものです。それ以前に土岐市が作っていた冊子は文字ばかりで分かりにくいという話もあったので、図や写真を入れ、以前は掲載していなかったお母さんとお子さんも一緒に行けるような飲食店を掲載しています。こちらについて昨年内容の修正をして発行しています。この冊子は、保健センターと市民課で配布していきまして、お子さんを妊娠された方は保健センターで母子手帳を交付してもらいますが、その際に渡しているのと、お子さんが産まれて市民課へ出生届けを出す時に市民課で渡していますので、1度は入手していると思います。今後も引き続き、電子図書の情報や、外国人の方の部分はなかなか難しいかもしれませんが、情報の更新をしながら発行していきたいと思っています。

(松崎委員)

今回話し合いをしているのは、普通に保育園や幼稚園に通える健常のお子さんたちの話ですが、障がいを持ったお子さんたちについて、お母さんたちの助けになることや制度について分かるようにしてあげられたら良いと思います。福祉の通信制大学で学んでいますが、先日「福祉避難所」を調べ、市役所でいろいろと話を聞きましたが、土岐市の場合、その福祉避難所も、いざ災害が起こった場合は障がいを持っている方は普通の避難所に行って認定を受けてからでないところの福祉避難所に行けるか、または行けないかということが分からないということでした。障がいを持っている方は療育手帳等を持っているので大体把握していると思います。あらかじめそれを把握しておいて、ある程度の割り振りを決めておいたらどうかと思います。

(山田会長)

ありがとうございました。その他のことについて事務局からありますか。

(事務局)

コロナの影響にもよるかと思いますが、この子ども子育て会議について年2回実施したいと思っていますので、次回の日時はまだ検討中ですが、日にちが近づきましたら、皆さんに案内の通知をしますので、よろしくをお願いします。

(山田会長)

ありがとうございました。これで議事はすべて終了となります。子育てについて事務局、支援課の方は努力していただきありがとうございます。その中で、いつも思うのは色々な制度を考えていただく時に、どうしても制度と制度の隙間ができてしまう訳で、これはどんな制度を作っても必ず生まれてくるものです。そういうところも考えながら、少しずつ進んでいただければありがたいと思います。それから委員の皆さんは、各団体やそれぞれの立場でありますので、帰られたら、その団体やお立場で、何か会合があった時に、「こういうことが考えられる」、「こういうことができる」ということで、情報を広めていただけたらありがたいと思います。もう一つは会議が終わった後の情報交流もぜひ有効に使っていただけると良いと思います。では、事務局お願いします。

(事務局)

ありがとうございました。長時間にわたりまして皆様からいろいろなご意見をいただきありがとうございました。以上をもちまして、第19回子ども子育て会議を終了させていただきます。

午後16時30分閉会